

# のり海況速報 第8報 (27-8)

平成28年 1月 7日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 1/5：内湾(ふさなみ)、内房北部(ふさみ丸)  
 関東・東海海況速報(12/25-1/7)、東京湾口海況図(12/25-1/7)  
 自動観測ブイデータ(12/25-1/7)、拓南観測データ(1/5)  
 モニタリングポスト(1/5：国交省関東地方整備局)

## 【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は12～14℃台で、引続き昨年同時期に比べて2℃程高くなっています。塩分は羽田沖でやや低いものの30～32台で、平年並みからやや高めでした(図1)。
- ・内房北部の表層水温は14～15℃台で、内湾と同様、昨年同時期よりも2℃程高めです。
- ・内房北部の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、ノリ漁場沖合(st. 10)の水深10m以深に水温16℃以上の水塊がみられます(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入はやや弱まってきていますが、金谷から久里浜ライン付近では水温17℃台の水塊が及んでいますので、この動きには注意が必要です。

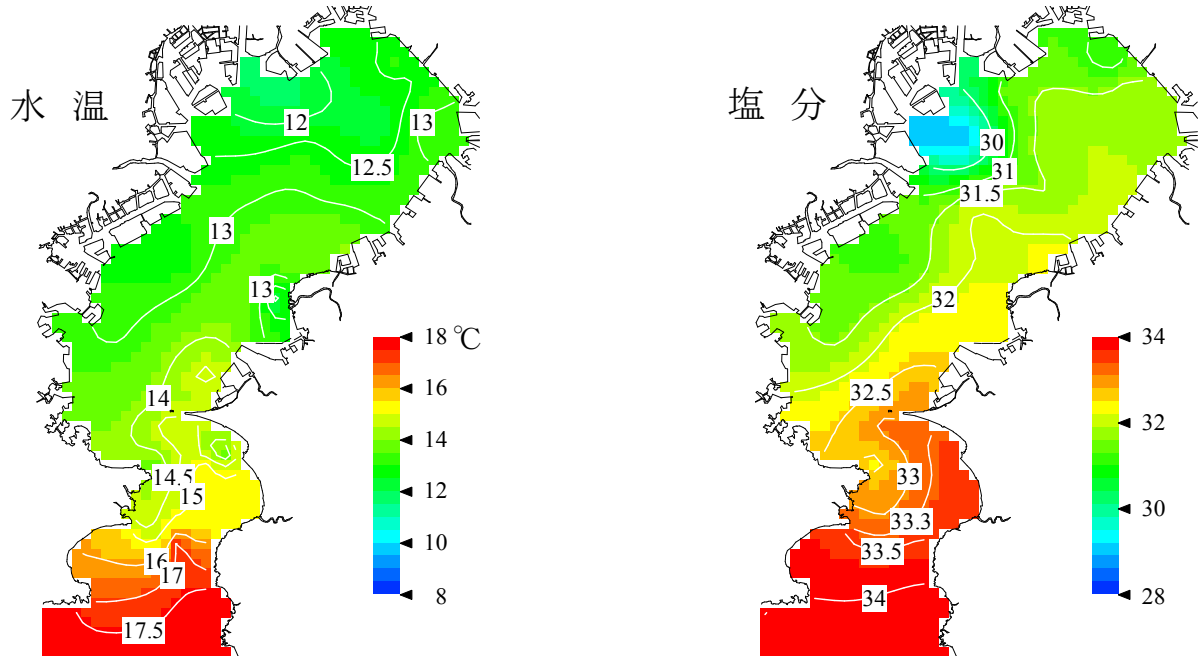


図1 表層の水温・塩分の分布(平成28年 1月 5日)

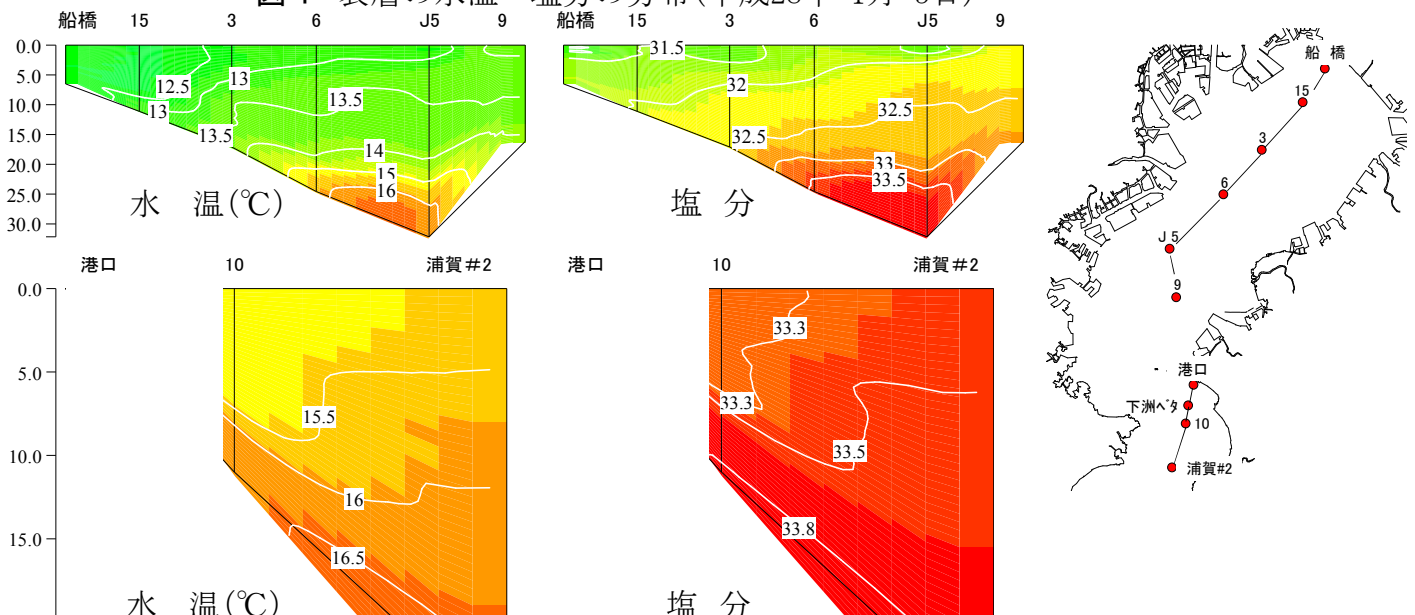


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成28年 1月 5日)  
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

## 【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんでした。
- ・プランクトンは依然少なく、ケイ藻のキートケロスとケイ質鞭毛藻のディクチオカがやや多くみられる程度でした。透明度は最も低いところで5m前後あり、水色はおおむね黄緑から緑色でした。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)ともにのり養殖にとって十分な量です。

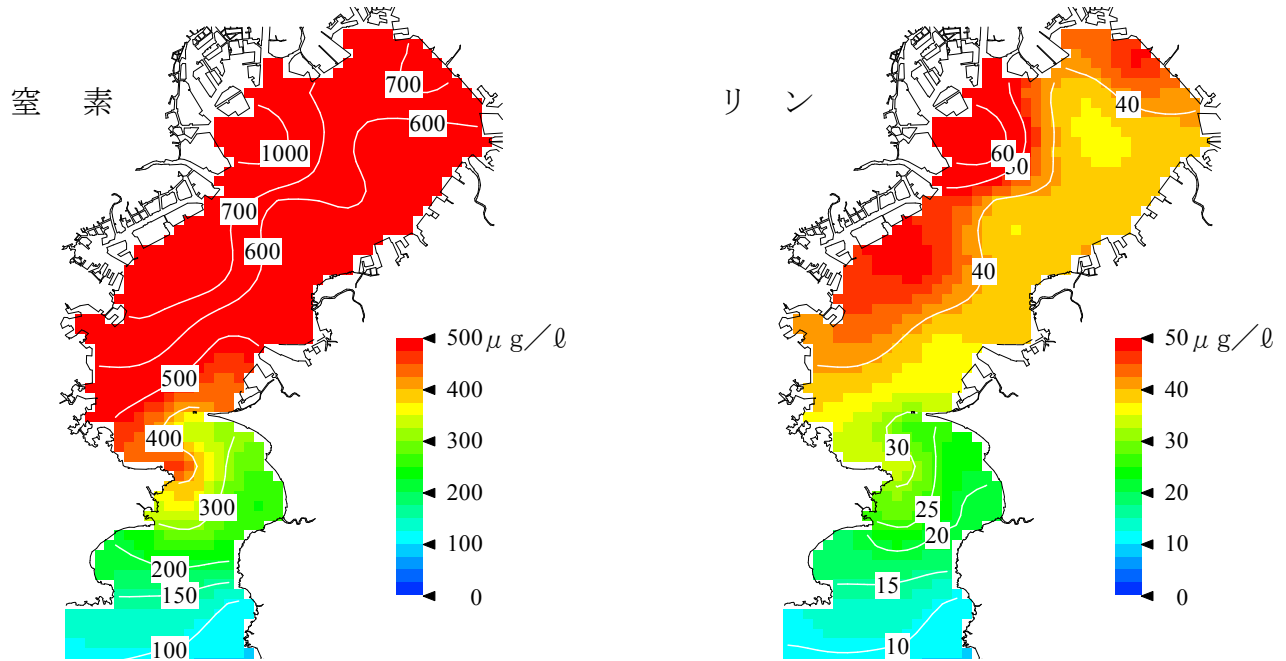


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成28年 1月 5日)

### 川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：[http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯：[http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)